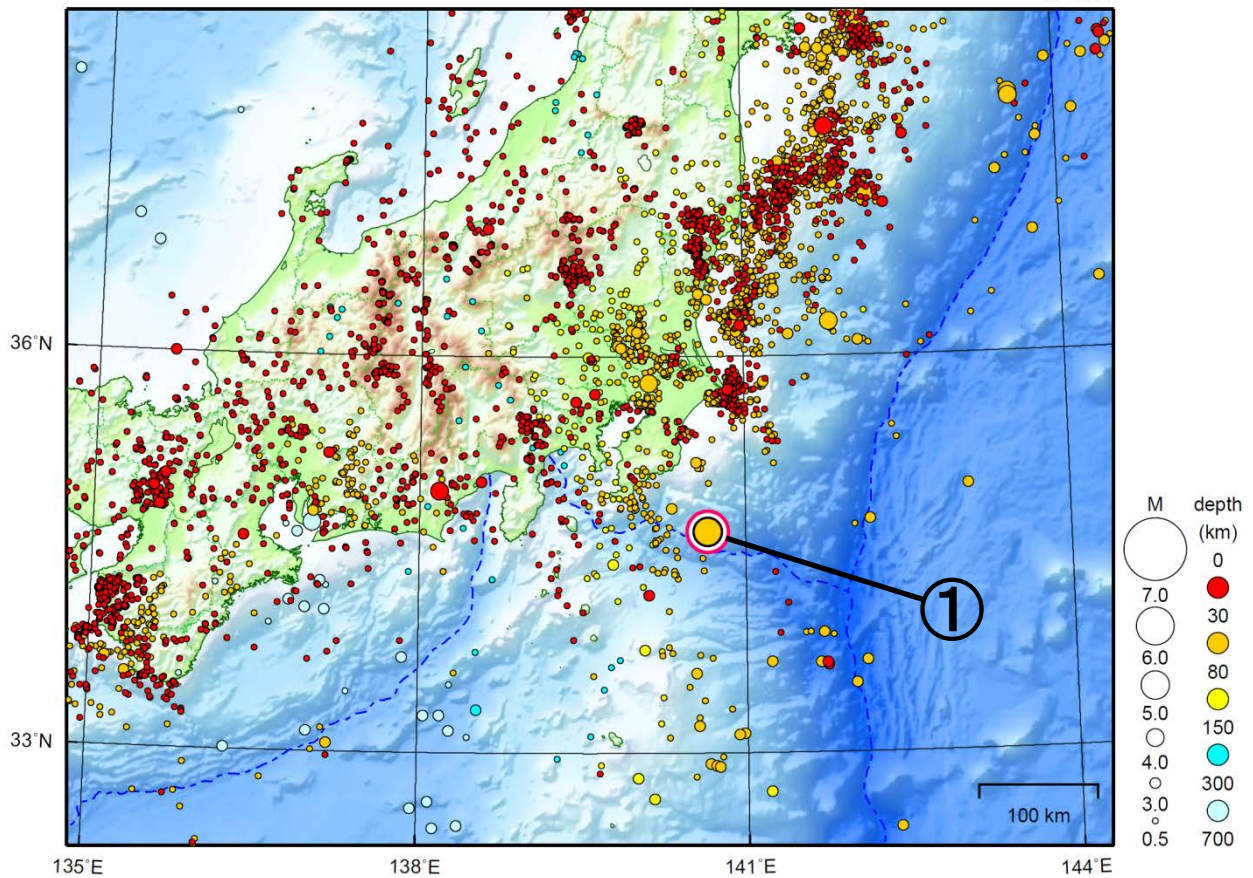


# 関東・中部地方

2019/10/01 00:00 ~ 2019/10/31 24:00

N=4663



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

① 10月12日に千葉県南東沖でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

（上記期間外）

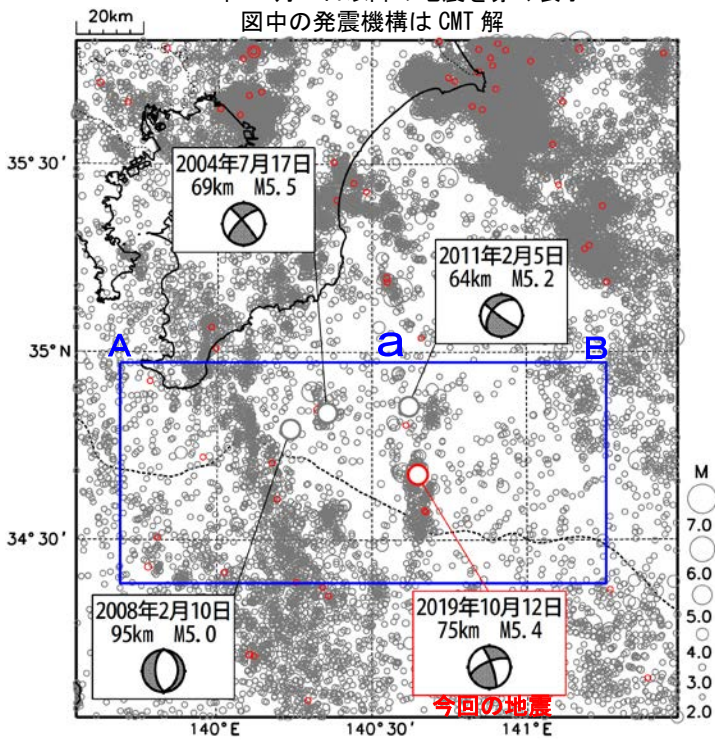
11月8日に茨城県沖でM4.4の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 10月12日 千葉県南東沖の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2019年10月31日、  
 深さ0～120km、M $\geq$ 2.0)  
 2019年10月1日以降の地震を赤く表示  
 図中の発震機構はCMT解

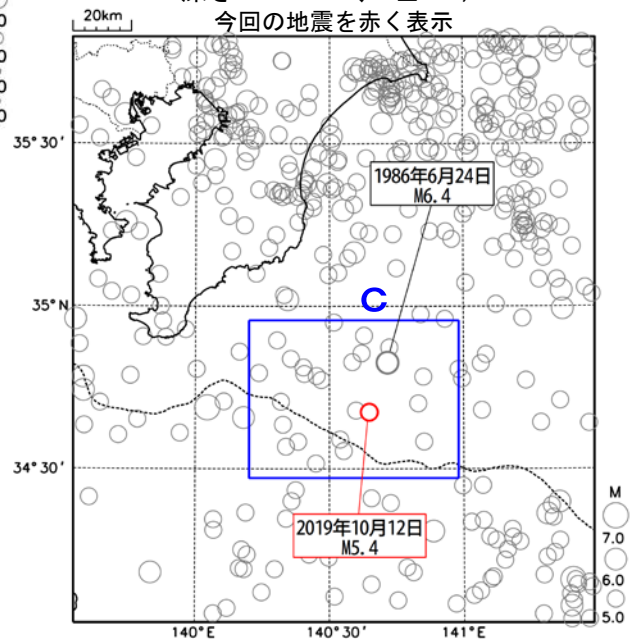


2019年10月12日18時21分に千葉県南東沖の深さ75kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

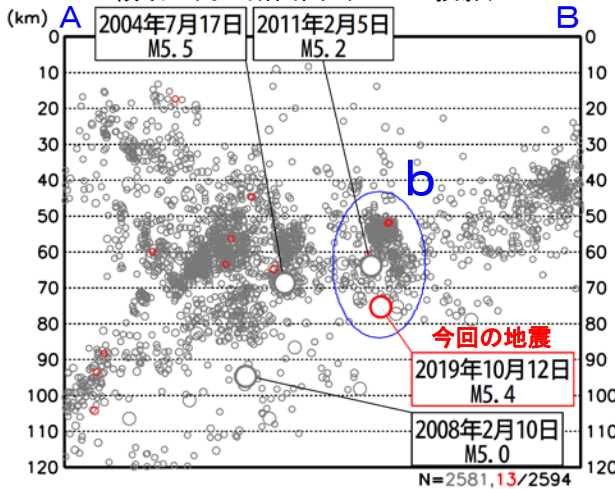
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5程度の地震が時々発生しており、2011年2月5日に千葉県南東沖でM5.2の地震(最大震度4)が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、1986年6月24日に房総半島南東沖でM6.4の地震(最大震度4)が発生した。

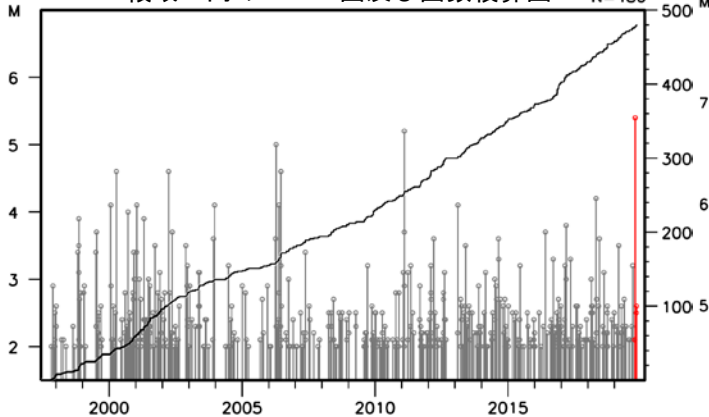
震央分布図  
 (1922年1月1日～2019年10月31日、  
 深さ0～120km、M $\geq$ 5.0)  
 今回の地震を赤く表示



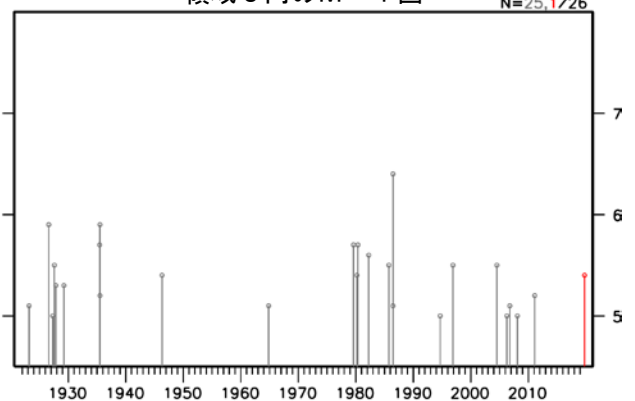
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図





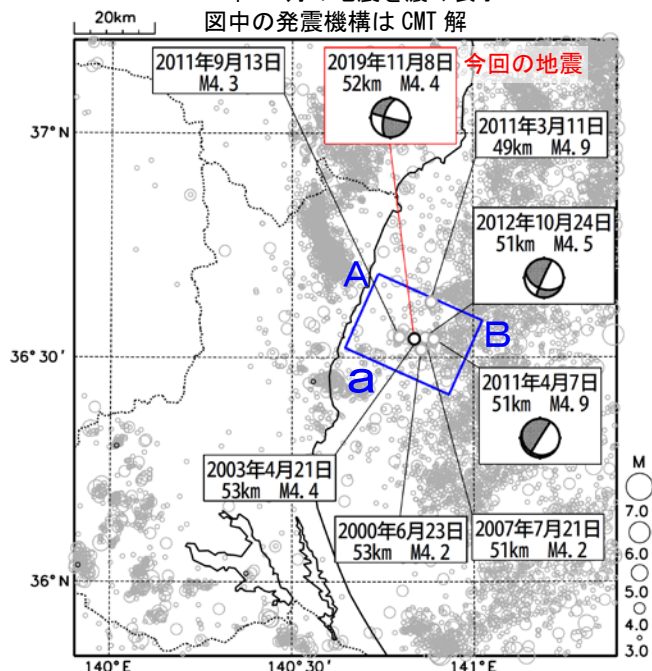
# 11月8日 茨城県沖の地震

## 震央分布図

(1997年10月1日～2019年11月8日、  
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )

2019年11月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

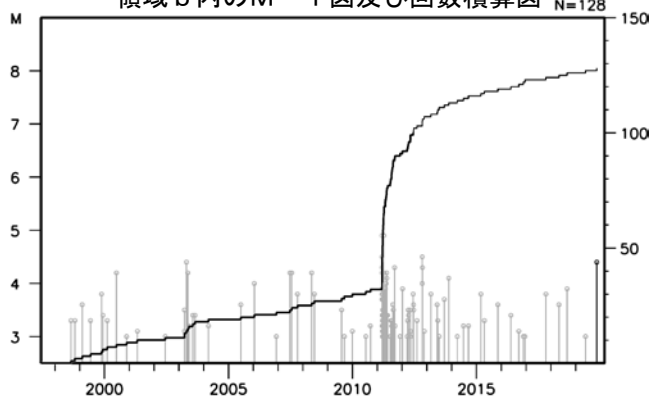


2019年11月8日18時18分に茨城県沖の深さ52kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は、北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

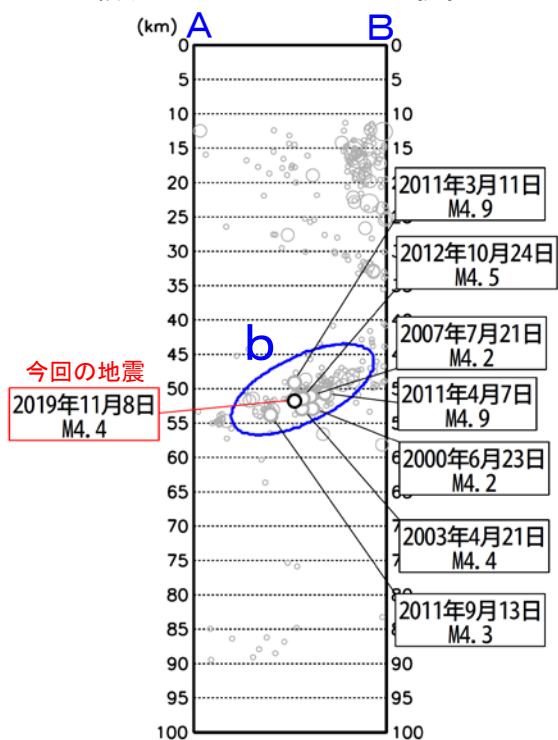
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M4～M5程度の地震がたびたび発生しており、東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動が一時的に活発になった。2012年10月24日にはM4.5の地震（最大震度4）が発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c）では、1955年12月12日にM5.0の地震（最大震度3）が発生した。

## 領域b内のM-T図及び回数積算図

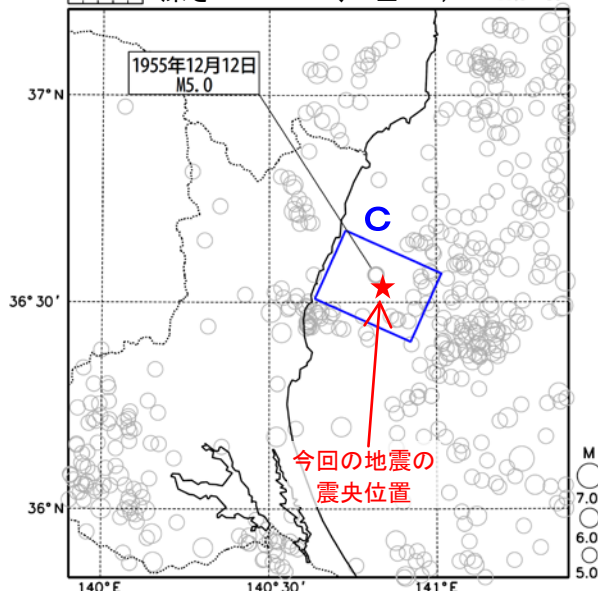


## 領域a内の断面図 (A-B投影)



## 震央分布図

(1922年1月1日～2019年11月8日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



## 領域c内のM-T図

